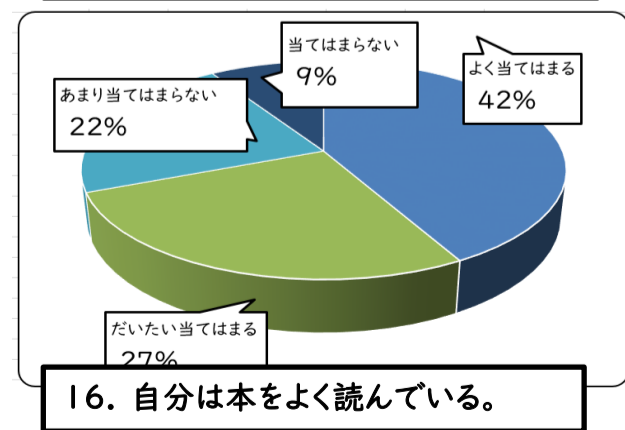
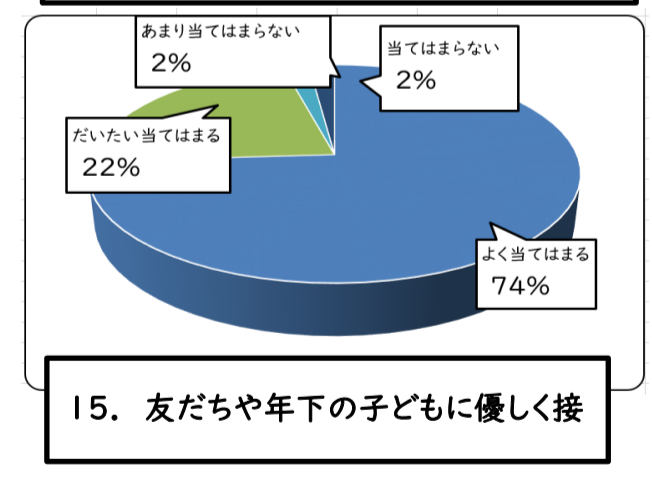
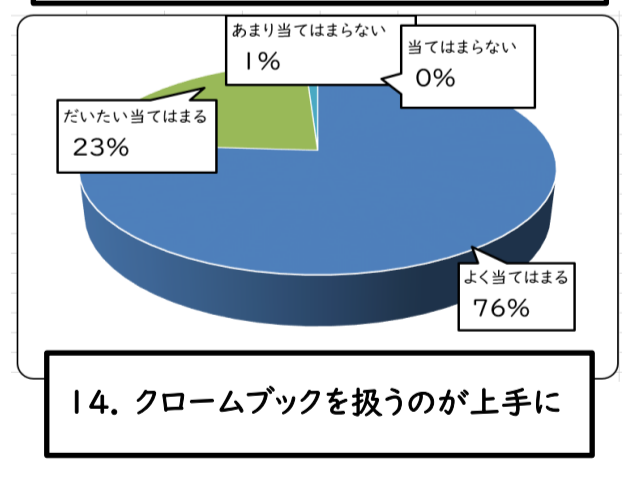
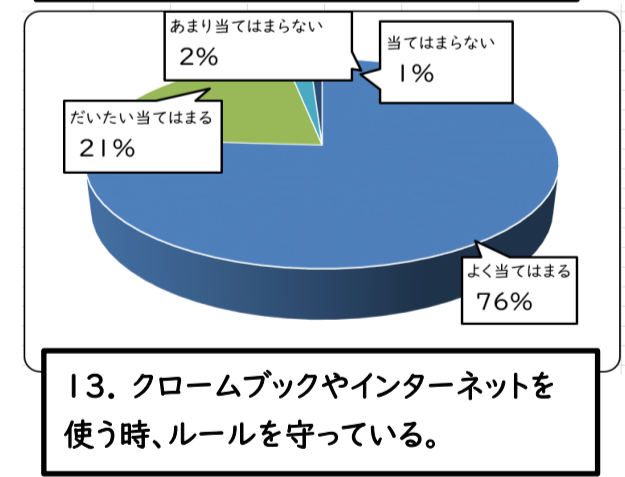
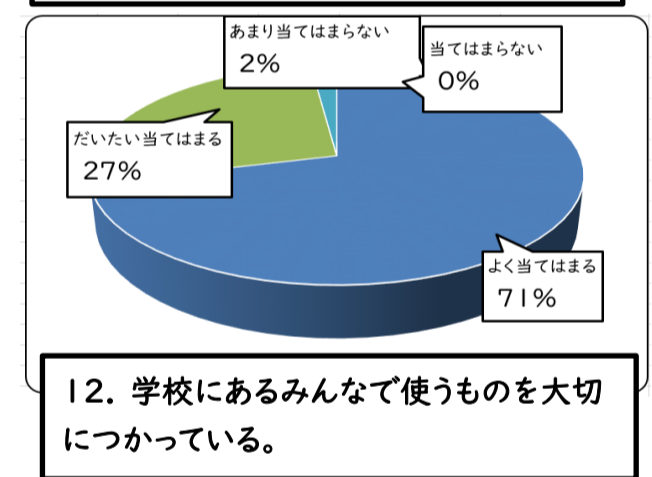
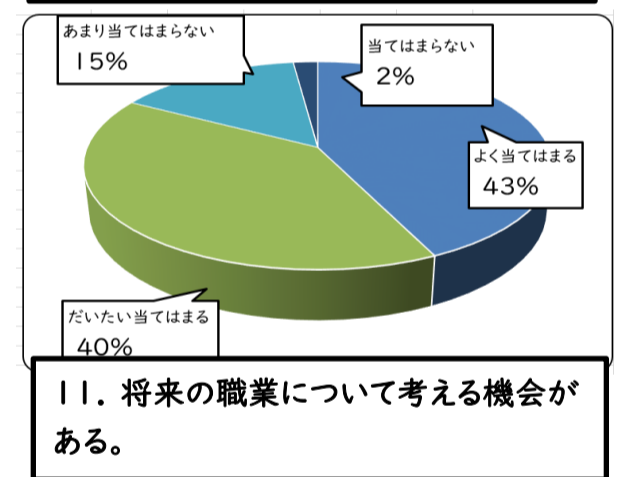
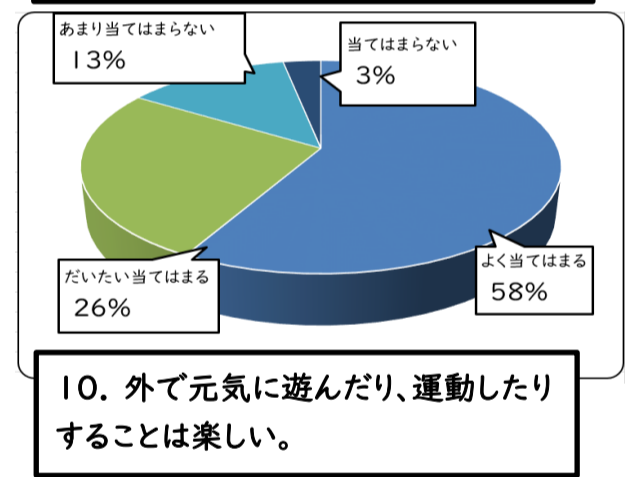
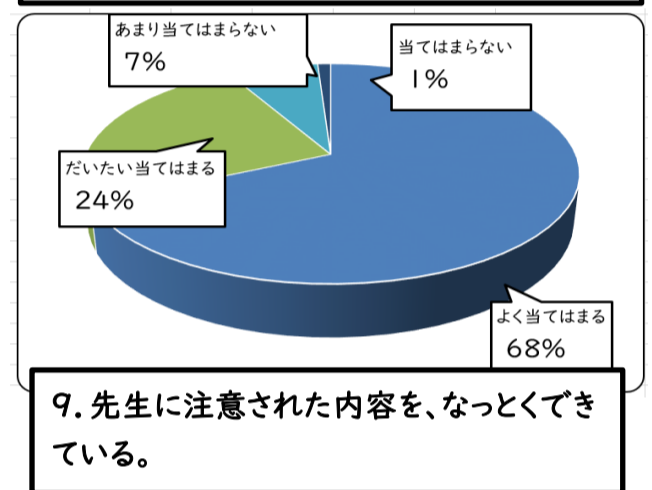
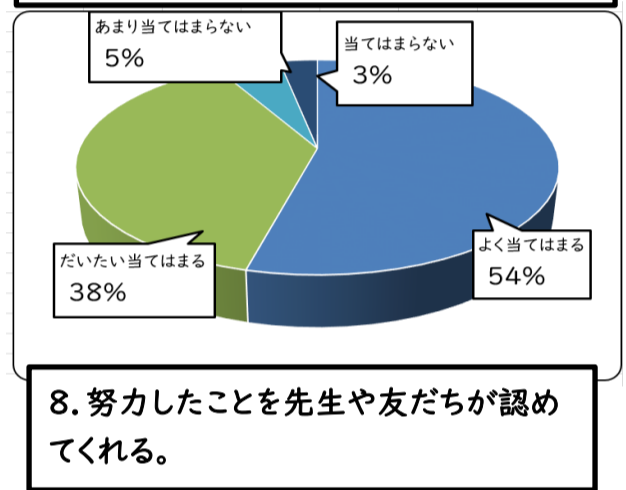
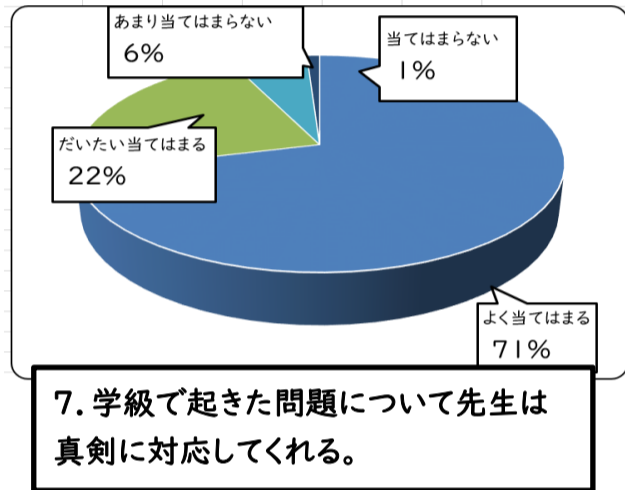
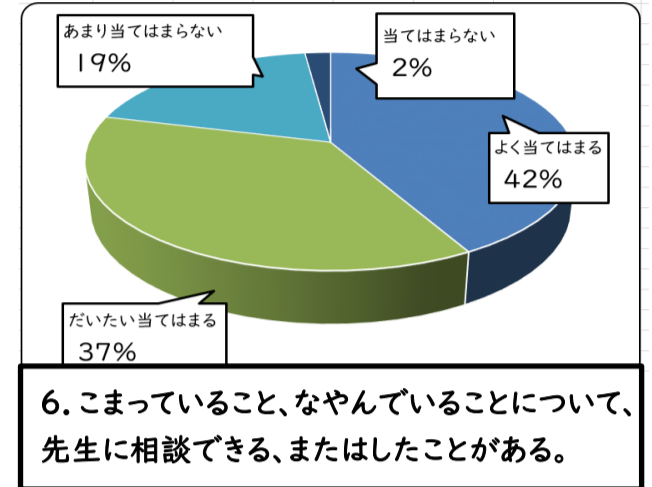
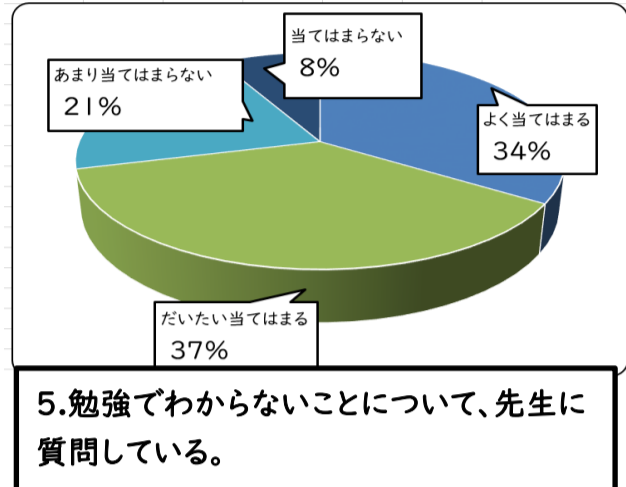
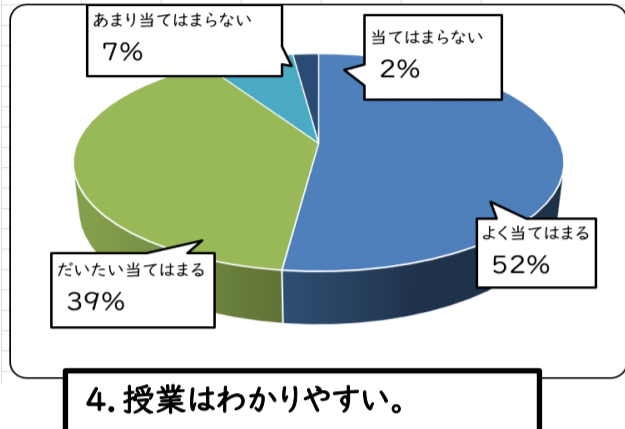
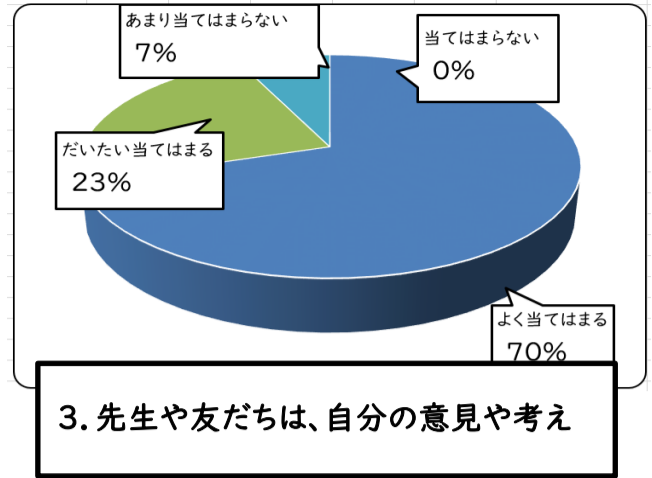
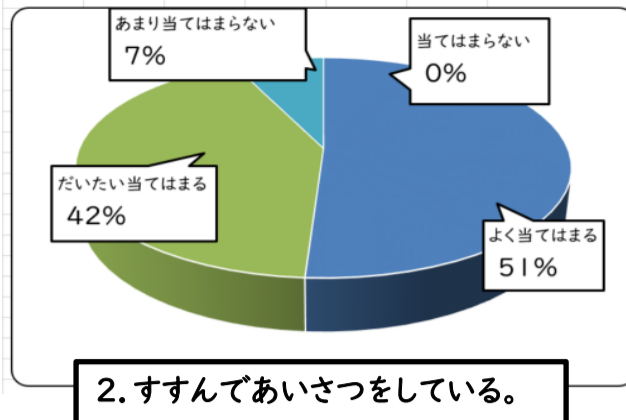
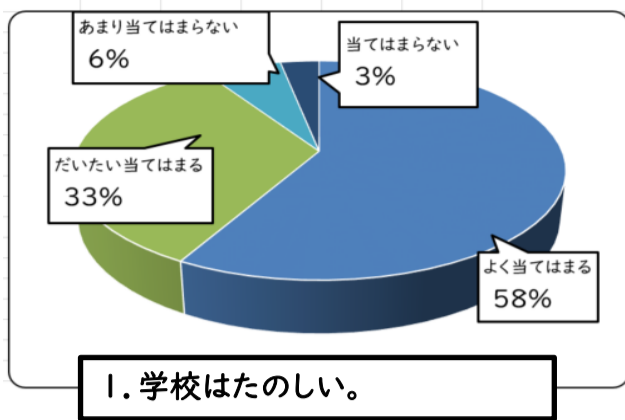


令和7年度 学校診断 児童アンケート結果



【結果を受けて】

- 設問（2）「すずんであいさつをしている」について。自ら進んであいさつをする児童がたくさんいます。「あいさつは魔法の言葉」と言われるように、あいさつはお互いの気持ちを明るくし、コミュニケーションを円滑にします。引き続き、学校であいさつの大切さを指導していきます。
- 設問（4）「授業はわかりやすい」について。授業については、児童一人ひとりに寄り添い、誰もが「わかる」授業を目指して全職員一丸となって改善に取り組んでいます。その一例として、全教科で「授業の振り返り」を行い、児童の理解度を把握して次の授業の改善に生かしています。
- 設問（5～9） これらの質問は、児童が「安心して過ごせる学級かどうか」に直結する内容です。誰もが安心して学校生活を送れるよう、引き続き、集団づくりや児童の心に寄り添った指導を進めてまいります。
- 設問（13～14） 「クロームブック」に関する質問について。「1人1台端末」が導入されて数年が経過しました。今年度2学期からは端末が更新（リニューアル）され、活用できる幅がさらに広がっています。端末に触れる機会が増えたことで、児童は鉛筆と同じように端末を「文房具」として扱い始めています。今後もルールを遵守し、適切な使い方ができるよう指導を継続してまいります。